



数え100歳 百寿のお祝い

とても穏やかな性格で、絵を描くのが好きです

満99歳を迎えた遠藤與三郎さん(㊤廻館)に、12月21日(月)、町から百寿のお祝い金などが送られました。與三郎さんは1男1女の長男として入谷の入大船沢地区で生まれ育ち、6人の子ども、14人の孫、9人のひ孫に恵まれました。農業をしながら炭焼きをして生計を支え、太平洋戦争の際には、中国の北支に行った経験もあるなど、大変苦労されたようですが、今は、慈恵園で穏やかに暮らしています。植物を育てたり絵を描いたりするのが好きで、慈恵園には與三郎さんが描いた絵がたくさん飾られています。めでたく今日を迎えた與三郎さんは、「100年生きるのは容易なことではなかった。本日はありがとうございます」と、これまでの苦労と感謝の気持ちを話してくれました。これからも、ますます元気にお過ごしください。

ひ孫のひなのちゃんから絵のプレゼントをもらいました

日本の伝統「しめ縄づくり」に挑戦

12月9日(水)、歌津中学校の全校生徒が参加する「しめ縄づくり体験」が行われました。しめ縄は、お正月の飾り物として古くから親しまれていますが、縄ないをして作る家庭が少なくなったことから伝統文化の継承を目的に、歌津中学校では毎年この時期の恒例行事としてしめ縄づくりを行っています。しめ縄づくりの講師は、伊里前地区老人クラブの小野實さん(㊤伊里前)、大津三郎さん(㊤田表)、三浦茂さん(㊤伊里前)、山内新治さん(㊤伊里前)の4人が務め、「しめ縄は極めて神聖なものなので、心を込めて丁寧に作ってください」と説明がありました。今年初めて挑戦した1年生の阿部武徳さん(㊤泊浜)は、「縄ないが難しくてうまくできなかったけど、来年はちゃんと作れるように頑張りたいです」と、話してくれました。



縄ないのコツを教える山内新治さん



クリーニング屋さんの企業秘密を伝授

12月18日(金)、志津川保健センターを会場に、「第1回お母さんたちの勉強会」が行われ、子育てや家事などに追われ、日ごろ勉強する機会が少ないお母さんたちが、家庭でもできるクリーニングのコツや裏技などを学びました。講師を務めたのは、町内でクリーニング店を営む宮川安正さん(㊤天王前)で、家庭でもできるシミ抜きの方法や上手なアイロンかけの方法など、本当は教えたくない“企業秘密”を惜しげもなく伝授。参加した行場真野さん(㊤本浜町)は、「なかなか専門家の話を聞く機会がないので、とても勉強になりました。」と、話してくれました。

元気な稚魚が生まれるといいな

11月30日(月)、戸倉小学校の5年生が、鮭の採卵体験を行いました。水戸辺鮭組合の菅原博文さん(㊤水戸辺)と小山政彦さん(㊤水戸辺)が10分程前に水戸辺川から揚げたばかりの白鮭を戸倉小学校理科室に運んでくると、お腹を裂いて採卵の方法を実演して見せました。その後、子どもたちも慣れない手つきで採卵を体験し、取り出した卵は、雄の精子をかけたあとに、ふ化用の水槽に入れられ、今年の3月に放流できるように飼育されます。採卵を体験した三浦伸さん(㊤波伝谷)は、「鮭のお腹の中はドロドロしていて、取り出すのが難しかったけど、稚魚が生まれたら元気に育ってほしいです」と、話してくれました。



丁寧に卵を取り出しました



歌って 踊って アンパンマン!



観客席も盛り上がりを見せていました

12月13日(日)、ベイサイドアリーナ文化交流ホールを会場に「親子ふれあいコンサート」が開催され、大勢の親子がアンパンマンの歌や踊りを楽しみました。この日行われたコンサートは、子どもたちに人気があるアニメ「それいけ!アンパンマン」の主題歌を歌う双子姉妹のユニット「ドリーミング」によるコンサートで、誰もが一度は聞いたことがあるアンパンマンの主題歌やイメージソングを熱唱し、曲の合間にはクイズなども出題されました。1時間という短い時間でしたが、会場に訪れた元気いっぱいの子供たちは、歌にあわせて踊ったりクイズに答えたりと、汗をかきながら楽しんだようです。

ご寄附ありがとうございました

11月24日(火)、神奈川県在住で東京歌津会会長の千葉幸記さんが歌津総合支所の町長室を訪れ、東京歌津会から町への寄附金として10万円を町長に手渡しました。また、11月26日(木)は、東京都在住の佐藤道子さんの代理人として小野弘喜さん(㊤石泉)が本庁の町長室を訪れ、寄附金50万円を町長に手渡しました。道子さんは旧本吉町出身ですが、亡くなられた夫の金吾さんが歌津の石泉出身で、生前から「歌津のためにお金を使いたい」と言っていた故人の意思を汲んで寄附をしたもので、母校である歌津中学校にも50万円の寄附をしています。東京歌津会会員の皆さんと佐藤道子さんのご高配に対して深く感謝申し上げますとともに、ご寄附いただいた浄財については、南三陸町のまちづくりと町民福祉の向上に有効に活用させていただきたいと思っております。



東京歌津会会長の千葉幸記さん



佐藤道子さんの代理として訪れた小野弘喜さん

戸中3年生が町長へプレゼンテーション

11月27日(金)、戸倉中学校3年生の皆さんが「町長出前トーク」を活用して、町に対する提言を行い、町長がそれぞれの意見や質問に対して回答をしました。この日発表された町への提言は、生徒の皆さんが夏休みの期間中に調査・研究したもので、パソコンで編集したものをプレゼンテーション形式で発表しました。観光や環境に関することのほかに、「水戸辺鹿子踊などの郷土芸能をもっと多くの人に知ってほしい」「インターネットで地元の伝統的な料理を紹介してほしい」「インターネットで地元の伝統的な料理を紹介してほしい」などのような身近なものまで、7つのグループからの提言に、町長が一問一答方式で回答しました。

